これからの佐伯図書館の在り方　概要版

市民から親しまれる佐伯図書館未来構想協議会（令和６年１０月）

【はじめに】

佐伯図書館は1981年に設置され、図書・郷土資料などの収集、貸出などで、佐伯市民の生活文化の向上に貢献してきたが、最近では、カフェスペースを設置した図書館など、新たな目的をもった図書館が増え、図書館の役割が広がっている。

このような中、将来の佐伯図書館の在り方について検討するため、「市民から親しまれる佐伯図書館未来構想協議会」が設置された。

この協議会では、第２次佐伯市総合計画後期基本計画に基づいて、佐伯市の歴史的背景や佐伯図書館の現状把握、市民の意識調査及び他市の公立図書館の視察などを実施し、**これからの佐伯図書館に求められる基本理念と具体的な方向性を示す指針をまとめた。**

【協議会の経過】

回	開催日時	開催場所	内容
令和5年度 第1回	令和5年5月30日	佐伯市役所 本庁舎	佐伯市の歴史的背景、佐伯市の現状、佐伯市総合計画等
第2回	令和5年7月10日	三浦造船 佐伯図書館	佐伯図書館の現状の説明、アンケート調査の実施等
第3回	令和5年9月26日	佐伯市役所 本庁舎	図書館と地域づくり･地域課題への対応(研修)、全国の図書館の紹介、アンケート調査結果等
第4回	令和5年10月24日～10月25日	都城市 鹿児島市	都城市立図書館及び鹿児島市立天文館図書館への視察
第5回	令和5年12月19日	佐伯教育 市民ホール「まな美」	図書館アンケート結果の検証、協議会及び視察研修会の検証、佐伯図書館の理念構築
第6回	令和6年2月2日	佐伯教育 市民ホール「まな美」	佐伯図書館の理念及び指針 ※これからの佐伯図書館の在り方(素案)
第7回	令和6年3月13日	佐伯教育 市民ホール「まな美」	佐伯図書館の理念及び指針 これからの佐伯図書館の在り方(素案)
令和6年度 第1回	令和6年5月20日	佐伯教育 市民ホール「まな美」	佐伯図書館の理念及び指針 具体的機能やサービス
第2回	令和6年7月24日	佐伯教育 市民ホール「まな美」	具体的な機能やサービス
第3回	令和6年10月31日	佐伯市役所 本庁舎	これからの佐伯図書館の在り方の報告

【佐伯図書館の現状】

佐伯図書館は図書館（1981年建築で建物床面積1,219.33㎡の一部2階建て）と視聴覚センター（1994年建築で建物床面積1,277.88㎡の総2階建て）からなり、耐震性の有した鉄筋コンクリート構造である。令和3年度に屋根改修工事を実施しているが、老朽化により図書館側エレベーター、視聴覚センター側の空調機器、トイレ一部等が使用不可となっている。また、駐車場は施設周辺に12台、約40m先に約30台となっている。

〔佐伯図書館内観〕

平成18年度から指定管理者制度を導入しており、令和5年度からは、ナカバヤシ株式会社が管理運営を行っている。蔵書数は約17万4千冊、年間貸出冊数は約20万4千冊で、人口に対する市民の利用登録者数は29.3％になっている（いずれも令和4年度数値）。

主な運営内容としては、年間約1000万円分の図書や資料を購入し広く市民に提供し、電子書籍の貸出サービスやインターネットでの予約サービスを行っているが、自動貸出機(ICタグ)等は導入していない。また、移動図書館車を2台所有し、広い佐伯市を効果的に巡回し、市民の利用促進を図っている。さらに、日曜文化講座、市民文化講演会、ビブリオバトル、調べ学習コンクール、図書館上映会等を開催し、文化的事業を積極的に展開している。

【佐伯市の歴史的背景】

佐伯藩８代藩主毛利高標公は、現在の図書館機能を有した「佐伯文庫」を創設し８万巻を所蔵していたと言われている。小藩でありながら、当時、全国でも有数の蔵書量を誇り、さらに蔵書の質も素晴らしく、幅広い分野の書物が所蔵されていたことも当時としては非常にめずらしく、「佐伯文庫」が江戸幕府も注目する当時の図書館であったことが伺える。さらに、「佐伯文庫」の書物は、身分制度の厳しい時代にあっても格下の藩士にまで貸し出されおり、藩学「四教堂」と合わせて、佐伯市は、学問を広げ、人材育成を図る文教政策において、全国的に誇れる歴史を有している。

【図書館に対する意識調査】

これからの佐伯図書館の在り方の参考とするため、佐伯図書館に対する市民や未来の佐伯市を担う中・高校生などに対して意識調査を実施した。

①中学生・高校生アンケート

（中学生）対象者数：1,497名　回答者数：1,173名

（高校生）対象者数：1,561名　回答者数：661名

○結果の考察

中・高生ともに、図書館の利用割合が低くなっている。利用しない理由は「自宅や学校から遠い」が多く、九州一広い佐伯市の特徴ではないかと考えられる。

また、Wi-fiなどのインターネット環境やカフェスペースの充実などを求める声が多くあり、若い世代は図書館の多機能化を望んでいると考えられる。

②一般市民向けアンケート　対象者数：2,000名　回答者数：1,026名

○結果の考察

図書館の利用者の多くは定期的に「本を借りる、読む」が目的であり、利用者が固定化されているように思われる。また、図書館に望むものとして、自動貸出機などの導入や駐車場の不便さを訴える回答が多くあり、利用者に対する利便性の向上を求めている。

③未就学の子どもを持つ保護者アンケート　対象者数：1,668名　回答者数：430名

○結果の考察

回答者の約30％が現在図書館を利用しており、利用していない人は利用したいが館内で子どもが泣き出したりすることを気にし利用を控えている方が多く、図書館は子育てに必要な公共施設としての認識を持っている。子育て中の保護者の皆さんの図書館に対する期待の高さが伺える。

④小学生利用者アンケート　図書館利用する小学生　回答者数：49名

○結果の考察

小学生利用者の多くは、「調べる」ために図書館を利用しており、図書館は小学生の「知りたい」という欲求を満たす役割を担う必要があると考えられる。

【他市の公立図書館の視察】

県外の先進的な取組を行う図書館や新たな役割を担う図書館への視察を実施した。

視察先①：都城市立図書館（視察日：令和5年10月24日）

平成30年4月28日にオープン。創業支援等を進める交流センター、イベントや集会などで利用できる「まちなか広場」、そして子育て世代活動支援センターなどで構成する都城市中心市街地中核施設「Mallmall（まるまる）」が併設されている複合施設。従来の図書館機能だけでなく、子どもや若者、市民の活動を促進する機能（スペース）が充実しており、また、カフェスペースも充実。多機能で、市民の図書館に対する新たな役割を担っている図書館。年間来館者数約100万人。

〔都城市立図書館〕

視察先②：鹿児島市立天文館図書館（視察日：令和5年10月25日）

「みんなをつなぐ図書館」～新しい価値を創造・発信する、多様なつながりを育む図書館～をコンセプトに幅広い世代の人々が集い、共に学び成長できる図書館とし令和4年4月9日にオープンした図書館。市内中心部にある商業施設「センテラス天文館」の4・5階を鹿児島市が図書館として整備した施設。イス席を200席整備し滞在型に特化した図書館で、中・高生など若年層の利用が多い。年間来館者数約93万人。

〔鹿児島市立天文館図書館〕

【まとめ】

本協議会は、令和５年５月から６年１０月まで１０回にわたり会議を開催するとともに、市民の意識調査や他施設への視察調査を行った。

会議においては、第１回目から３回目までは佐伯市の施策や歴史、佐伯図書館の現状や課題などについて調査し、４回目は他県の図書館の視察調査を行い、５回目以降は市民の図書館に対する意識調査の結果も参考に、佐伯図書館の在り方について協議を重ねた。会議では、終始各委員から真摯な意見が出され、熱心な議論が展開された。

市民の意識調査結果では、市民の20％程度の人が図書館を利用している状況であった。利用しない理由としては様々であるが、利用する必要がないことや図書館が自宅や学校から遠いなど、九州一広い本市の特徴が表れているものと考えられる。

また、図書館に求めるものとしては、インターネット環境の充実などの『多機能化』、駐車場の増設やカフェスペースの設置などの『利便性の向上』、親子で楽しめるイベントの充実など『子育て世代の利用しやすさ』などが挙げられている。

本協議会では、昨今の図書館事情も考慮して、佐伯図書館には改めて独自のコンセプトを持つべきであると考える。本市においては、毛利高標公が創設した四教堂と佐伯文庫により人材育成に力を注いできた歴史的背景がある。佐伯図書館の将来像は、従来の知のセーフティーネットとしての役割はもちろんのこと、本市の歴史的背景からも人材育成の拠点となる「令和の佐伯文庫」となることが期待される。

そのようなことから、当協議会は、市民の図書館に対する期待も踏まえ、佐伯図書館の在り方として次のような基本理念を掲げ、今後の具体的な方向性を示す６つの指針を策定した。

基本理念

集い、つながり、成長する「佐伯人（さいきびと）づくり」の拠点、令和の「佐伯文庫」となる佐伯図書館

基本理念を支える指針

心豊かで寛容さを持つ「佐伯人（さいきびと）」を育てる佐伯図書館

多様性を認め、多様性を活かし、新たな「さいき」を創造する人づくりの拠点となる図書館

●機能（サービス）　多文化の理解を深める文化講演会や市民講座の開催、佐伯を知る取り組み　など

人と人とがつながり、命を守り、未来を創造する佐伯図書館

あらゆる立場の人々がつどい、そしてつながって佐伯の未来を創造し、みんなで力強く生き抜くことを支える図書館

●機能（サービス）　カフェスペース、市民が活動できる多目的スペースなどの整備、障がい者に優しい機能の充実、防災意識の高揚を図る取り組み　など

佐伯を愛し、魅力を発信する佐伯図書館

オーガニックシティさいきのさまざまな魅力を発信し、市民の地域への誇りと愛着を醸成する図書館

●機能（サービス）　佐伯の魅力の掘り起こしと発信する取り組み、ＳＮＳの積極的な活用、佐伯の歴史学習会の開催　など

子育てを応援する佐伯図書館

子育て中の親子が、気軽に立ち寄れ、子どもとかけがえのない充実した時間が過ごせる図書館

●機能（サービス）　親子が気がねなく安心して利用できる環境（設備）の整備、親子で楽しむイベントの開催　など

佐伯っ子の成長を見守る佐伯図書館

佐伯の未来を担う子どもたちがいつでも、安全で安心して集え、子どもたちのさまざまな目的をかなえることのできる図書館

●機能（サービス）　子どもが気がねなく過ごせる環境、子ども向けイベントの開催、学習スペースの充実、インターネット環境の充実、学校図書館と図書館の連携　など

いつでもどこでも本に出合える佐伯図書館

市民一人一人のライフスタイルにあったサービスが受けられる図書館

●機能（サービス）　閲覧スペースの拡充、利用時間の見直し、駐車場のスペースの拡充、他の図書館等や公共施設との連携　など